

# 和地ひとみレポート No.207

## 第12回 平和市民のつどい

### 戦災遺跡 旧日立航空機株式会社変電所の修復・維持費は

募金

#### ■第12回平和市民のつどい

…8月13日(土) 毎年恒例の『平和市民のつどい』が都立東大和南公園の平和広場で開催されました。第12回となった今年は、昨年から行われるようになった「子どもを中心とした市民による平和キャンドルシェード」を施した平和キャンドルの点灯、また、東村山市との共同事業である「中学生の広島派遣事業の報告」なども行われ、多くの方が参加できる内容となっていたこともあり、昨年以上の市民の方が会場に集まりました。

…また、今年3回目となった都立東大和南高等学校の演劇部の皆さんによる朗読劇「わたしたちのまち～戦争と変電所～」では、戦争当時の東大和や日立航空機株式会社の工場の様子、東大和に住み、そこで働いていた当時の人の気持ち、そして、工場が空襲に襲われたときの様子などが、高校生による迫真の演技で披露されました。この朗読劇は毎年、心に迫る内容ということもあり、年々、集まる市民の皆様も増えている状況です。

…中学生による広島派遣事業報告では、東大和市と東村山市の中学生が、地域の戦時中の様子について学んだこと、また、広島派遣で訪れた際に広島平和記念資料館の見学や被爆者の方の講話により学んだことなどを発表。未来の平和を維持する当事者としての意識が芽生えたことなど感想も発表してくれました。



#### ■戦災遺跡 旧日立航空機株式会社変電所

…今年の「平和市民のつどい」でも、東大和市の戦災遺跡として平成7年10月1日に市の文化財に指定された『旧日立航空機株式会社変電所』の内部も特別公開され、変電所内には当時の写真や爆弾の模型などが展示され、多くの親子連れが文化財ボランティアの皆さんの説明などに耳を傾けながら、建物に残った弾痕などを見学していました。この、展示物についても、昨年とは違った新しいものもあり、この変電所の保存を通じて東大和市の歴史や平和の尊さを伝えるために活動されているボランティアの皆様のご尽力が感じられました。

…この変電所は、3回の空襲の攻撃を受け、窓枠や扉などは爆風で吹き飛び、壁面には機銃掃射や爆弾の破片による無数の穴が開きましたが、鉄筋コンクリートの建物本体は、致命的な損傷を受けず、奇跡的に破壊を免れました。戦後も平成5年までは主要設備機器の更新などをしながら変電所として活躍。しかし、工場の敷地の一部を東京都が買い上げ、都立公園として整備するために変電所は役割を終え、取り壊されることになっていましたが、地域住民や元従業員の皆様の強い要望により、変電所の建物は保存されることになり、今に至ります。

…しかし、昭和13年に建造され、爆撃にあった建物の保存には課題が多くあります。市は市の文化財に指定した平成7年度に約6,300万円の費用をかけて修復工事を実施。しかし今後さらなる保存・修復工事を実施する場合には、相当程度の費用がかかると市は想定しています。そこで、市は東京都の担当者へ都の文化財指定の可能性も含め、相談したとのことですが、現状では東京都の文化財指定は難しいのではないかと回答だったとのこと。現在、市長を中心に「西の原爆ドーム、東の変電所」というキャッチフレーズのもと、東大和市の重要な文化財として保存し、認知度を高めようと考えていますが、財政的な課題は解決できていない状況です。(裏面に続く)

#### 【平和市民のつどい プログラム】

##### 午後2時～午後7時40分

- ・旧日立航空機株式会社変電所内の特別公開
- ・東大和市刊行物の販売
- ・慰霊塔及び追悼式の写真パネルの展示
- ・平和文集及び日本国憲法の配布
- ・戦争体験映像記録の上映
- ・平和祈念キャンドルシェード制作コーナー
- ・「核兵器禁止条約」早期実現を目指した署名コーナー

##### 午後5時35分～午後7時40分

- ・平和市民のつどい開会宣言
- ・平和コンサート① 国立音楽大学の皆さん
- ・戦争体験の朗読劇 都立東大和南高等学校 演劇部
- ・平和祈念キャンドルの点灯
- ・旧日立航空機株式会社変電所のライトアップ
- ・平和祈念式典
- ・中学生による広島派遣事業報告会
- ・平和コンサート② 東大和少年少女合唱団

## ■ふるさと納税を活用して

…この変電所の保存については、議会でも多くの議員が取り上げています。その際の答弁では、保存のための修復工事の内容については平成7年当時に修復工事を担当した業者から保存についての情報収集をしたところ、コンクリートの構造物の補修・補強について、近年新たな工法が開発されたことなどの説明を受けているとのことですが、具体的な修復費用については明言されていません。

…そんな中、議会では「ふるさと納税制度」やインターネットを活用した寄付集めなどが提案されています。市は昨年、東大和市の戦争体験記を映像で残すために、DVDを制作し、ホームページ上で公開をしています。その中のダイジェスト版については英語対応もしており、この変電所を日本国内のみならず、海外の人にも知ってもらいたいと考えています。その背景には、インターネットを活用した寄付を集めたいという考えもあるのではないかと推測しますが、今年2月に産経ニュースで取り扱われたように（記事は右記のとおり）、現状、市は「ふるさと納税」を活用して修復費を募ろうと考えているようです。

## ■東大和市へのふるさと納税はゼロ

…昨今は、様々な自治体が「ふるさと納税」の返礼品を工夫したり、全国の「ふるさと納税」の返礼品が検索できたり、直接、納税ができるなどの便利なインターネットのサイトも開設されるなど「ふるさと納税」がブームとなって久しいことは、ご存知の通りです。このブームには賛否両論あり、当初の目的から逸しているという意見も。しかし、今年度の税制改正大綱で国は「企業版ふるさと納税」もスタートさせています。

…現在、東大和市は「ふるさと納税」により、東大和市に納税をしてくださった方への返礼品は用意していません。市としては、今後、ふるさと納税による納税が過熱化＝東大和市民が東大和市以外の自治体に納税することが増加した場合は、重要な課題になるという認識を持っています。実際の東大和市の「ふるさと納税」制度による影響については、平成26年度の決算では（平成27年度の決算はまだ発表されていないため、平成26年度が最新）、個人市民税への寄附金控除の影響により、約220万円税収が減少しているとのこと。一方で、他の自治体の方が東大和市に寄附していただいたという件数ゼロ件という状況です。現在は、減収額も220万円程度となっていますが、全国的にみると、平成27年度のふるさと納税で治められた金額は約1,653億円（対前年度比：約4.3倍）、約726万件（同：約3.8倍）※総務省調べ。東大和市も何か対策を打たなければならない状況だと感じます。

## 【産経ニュースの記事】

### ふるさと納税で戦災建造物修復

### 東大和市、平和の願い“返礼品”に

東大和市はふるさと納税を活用して、戦争の悲惨さと平和の尊さを伝える市史跡の戦災建造物「旧日立航空機立川工場変電所」（同市桜が丘）を全国にアピールし、あわせて修復費を捻出する。近く、ふるさと納税による寄付金の使い道に「変電所」を加え、修復・保存活動に協力して「平和」を願う協賛者を募る。工事完了後に設置する記念銘板に協賛者の名前を記載するなどし、これを“返礼品”と位置づけて感謝の印とする考えだ。

ふるさと納税をめぐるのは、自治体が少しでも多くの寄付金を集めようと返礼品の豪華さを競い合い、制度の趣旨から逸脱しているとの批判が根強く、平和への願いを“返礼品”にする動きは、こうした潮流に一石を投じそうだ。

同変電所は先の大戦で米軍の爆撃機B29や戦闘機の空襲を受けてできた無数の穴やくぼみが外壁一面に残っている。市史跡に指定されたのは平成7年10月。その際、保存、公開のために修復工事が行われたが、約20年が経過して建物の老朽化が進み、再び修復工事が必要という。

修復費は数億円にのぼる見通しで、できる限りふるさと納税による寄付金でまかなうが、足りない分は一般財源で手当てすることになる。

同市は「変電所の保存を平和のシンボルにしたい」との尾崎保夫市長の意向から、「西の原爆ドーム、東の変電所」をキャッチフレーズにして同変電所の認知度アップに力を入れてきた。このため、国の地方創生の交付金を使って変電所の紹介とふるさと納税を募る約5分間のビデオ映像を3月中に作成。動画投稿サイト「ユーチューブ」上の同市公式チャンネルなどで公開して情報発信も強化する。

## ■機をとらえたPRが必要では

…前述のとおり、東大和市は「ふるさと納税」に対する返礼品も用意しておらず、この制度を積極的に活用する姿勢は示していませんでしたが、初めて、変電所の修復という具体的な目的を持って「ふるさと納税」を活用する姿勢を見せています。これに関した産経ニュースの記事では、この取り組みを好意的に扱って頂いています。そうであるなら、今年の「平和市民のつどい」で、このことに触れ、PRするべきだったのではないのでしょうか。「平和市民のつどい」の数日前の7月27日付の市からの情報提供では「変電所の保存費用について『ふるさと納税』の活用を検討している」「変電所の保存以外の寄付金への返礼品を検討している」「今後、さらに検討を加え、実施に向けた準備を進めていく」とのこと。「平和市民のつどい」に集まった多くの人に対して「検討段階」であることを知らせるのもPRの一つです。市は“機を捉えたPR方法”も内容の検討と共に進めるべきだと思います。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。学校外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報などに従事。2011年4月、初当選。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員  
和地 ひとみ

## ■ 連絡先

和地 ひとみ事務所

HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp)

【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102